

## 第4学年 国語科学習指導案

児童 4年2組 21名(男子11名 女子10名)  
指導者 主濱美穂

- 1 単元名 材料の選び方を考えよう  
教材名 「アップとルーズで伝える」「四年三組から発信します」(光村図書 4年下)  
関連教材名 「コマーシャル」(学校図書 4年下)

### 2 単元について

#### (1) 教材について

第3学年及び第4学年の「読むこと」の目標は、「目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。」である。また、「書くこと」の目標は、「相手や目的に応じ、調べたことなどが伝わるように、段落相互の関係などに注意して文章を書く能力を身に付けさせるとともに、工夫をしながら書こうとする態度を育てる。」である。これを受け、本単元は、「目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読む。」「関心のあることなどから書くことを決め、相手や目的に応じて、書く上で必要な事柄を調べる。」ことをねらいとしている。

本単元の学習は、第1教材「アップとルーズで伝える」で説明文を読み取る学習を行い、第2教材「四年三組から発信します」で、自らが情報の発信者となって、情報の収集、選択、発信を体験するという構成になっている。第1教材「アップとルーズで伝える」は、わたしたちが最もよく目にしているメディアであるテレビの映像技法を中心に述べたものである。児童にも身近に感じられる内容であり、実際に確かめるのも容易である。また、「アップ」と「ルーズ」について対比的に分かりやすく述べられており、段落構成や中心語句の把握、要点をまとめる学習に適している教材である。さらに、写真と文章を対応させて読みながら対比的な段落関係をつかみ、それを含んだ文章全体の構成をとらえる力をつけることができる教材である。第2教材「四年三組から発信します」では、第1教材の内容を踏まえて、情報の収集から発信までの活動を行う。特に集めたさまざまな情報の中から相手や目的に合うものを選ぶ力をつけるのに適した教材であると考える。

#### (2) 児童について

児童はこれまでに、「ありの行列」で、段落について知り、段落の中心となる語句や文に注意しながら要点をまとめる学習をしてきた。また、「すがたをかえる大豆」では、段落ごとの内容や文末表現、接続語などに着目し、段落相互の関係に気を付けて読むと、「始め」「中」「終わり」の大きなまとまりに分けられることを学習してきた。また、「すがたをかえる大豆」で学習したことを基に、自分の興味をもった食べ物について調べ、「始め」「中」「終わり」の段落構成や、接続語に注意しながら説明文を書く学習をしてきている。さらに「かむことの手」では、段落ごとの小見出しや、接続語、文末表現などを手がかりにしながら段落相互の関係を考え文章の組み立て図を書く学習をしてきている。

児童は中心となる語句や文に気を付けて読み、段落ごとの要点をまとめたり、段落相互の関係に気を付けて読み、文章の組み立て図を書いたりできるようになっている。また、接続語の役割について考え、自分で文章を書くときに活用している児童も増えてきている。しかし、友達や教師と学び合う前に自分の力で要点をまとめたり、段落相互の関係を考え文章の組み立てを考えたりする力が不十分な児童もみられる。

学習に対しては、興味をもち意欲的に取り組む児童が多い。特に自分の考えをノートに書くことには意欲的である。しかし、自分の考えを進んで発表したり、考えを相互交流したりする力は十分とはいえない。そこで、話し方を指導したり、ペア学習を取り入れたりして、進んで自分の考えを発表できるように指導しているところである。

#### (3) 指導にあたって

この単元では、説明文で読み取った内容を活用して書く活動に生かせるように指導していきたい。そこで、

まず、「アップとルーズで伝える」で、各段落の中心となる語句や文をとらえ、要点をしっかりと読み取らせたい。また、接続語や文末表現などを手がかりに段落相互の関係をとらえさせたり、対比・まとめなど説明文の構成にも目を向けさせたりしていきたい。これらの活動を通し、伝える目的や相手に応じて、情報の材料や選び方や表現方法が異なっていることに気付かせ、自分が表現していくときに役立てていこうとする意識をもたせたい。さらに、「アップとルーズで伝える」で読み取った内容を基に、関連教材「コマーシャル」を読む活動を行い、教科書教材で読み取った内容を関連教材でさらに深めたいと考えた。この教材は、「コマーシャル」を制作する側（送り手）が、どうすれば視聴者（受け手）にすすめている商品に対して好感をもってもらえるか、いろいろ知恵をしぼり工夫していることについて述べた文章である。やはりそこには、「アップとルーズで伝える」で述べられていた、伝える目的や相手に応じて、送り手が情報の材料や選び方や表現方法の工夫をしていることが「始め」「中」「終わり」の典型的な説明文の文章構成で述べられている。「アップとルーズで伝える」と同じテレビの映像の話であること、今までに身に付いた説明文を読み取る力を使えば内容を短時間で読み取れること、次の書く活動にも生かしていける内容であることを考え関連教材に選択した。

書く活動は「アップとルーズで伝える」「コマーシャル」「四年三組から発信します」の内容を踏まえて、情報の収集から発信までの活動を行う。ふだん見慣れている学校の中のものについて、くわしく知りたいことや疑問に思うことを兄弟学級の2年生に壁新聞を作って知らせる活動に取り組みたい。その際、目的に応じてアップとルーズどちらかの写真を入れること、2年生にも分かるように、調べた中から、一番知らせたいことを選んで、分かりやすい言葉で書くことを意識させたい。つまり、集めた様々な情報の中から、相手や目的に合うものを選び、分かりやすく書く力を身に付けさせていきたい。

### 3 指導事項の関連と発展

「内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読む」

3年

4年

ありの行列 → すがたをかえる大豆 → 「かむ」ことの力 → アップとルーズで伝える

「内容や要旨をとらえながら読む」

5年

サクラソウとトラマルハナバチ → 千年の釘にいどむ → ニュース作りの現場から

### 4 単元の目標及び評価規準

観 点	目 標	評 価 規 準
国語への 関心・意欲・態度	○伝える目的や相手に応じて、情報の材料や選び方や表現方法が異なっていることに気付き、自分が表現していくときに役立てていこうとする。	・伝える目的や相手に応じて、情報の材料や選び方や表現方法が異なっていることに気付き、壁新聞作りをするときに役立てていこうとしている。
書く能力	◎相手や目的に応じ、必要な材料を集めたり選択したりして書くことができる。	・相手や目的に応じ、必要な材料を集めたり選択したりして壁新聞を書いている。
読む能力	◎それぞれの段落が全体の中でどのような役割を果たしているか考えながら読むことができる。 ○アップとルーズの働きについて、写真と対応させながら中心となる語や文をとらえて読むことができる。	・対比、まとめなど、それぞれの段落が全体の中でどのような役割を果たしているか考えながら読んでいる。 ・写真と対応させながら中心となる語や文をとらえて読み、アップとルーズの特徴を読み取っている。
言語についての 知識・理解・技能	○指示語や接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解することができる。	・指示語や接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解している。

5 単元の指導計画と評価規準 (全18時間)

過程 (時)	学習内容 (○) と主な学習活動 (・)	評価規準 活用したい既習事項 (既)
意識をもつ (1)	○題名について話し合い、初発の感想を書き発表する。 ・教材で使用する写真を見て、気付いたことを発表する。 ・初発の感想を書き発表する。	関 教材文に興味をもって読み、写真について気付いたことを発表している。(発言・ノート) (既) 感想をもつ。
見通しを立てる (1)	○学習の見通しを立てる。 ・単元全体の学習計画を立てる。 ・説明文を読み取った後に、壁新聞作りの活動をするという見通しをもつ。 ・大まかな文章構成をつかむ。	読 「始め」「中」「終わり」の大まかな文章構成をつかんでいる。(発言・ノート) (既) 段落の役割、文末表現、接続語に注目して文章を大まかに分ける。
深める (6)	○「アップ」と「ルーズ」の意味を読み取る。 ・写真と文章の関係を理解し、「アップ」と「ルーズ」の意味を読み取る。 ・①②段落と③段落の関係をを読み取る。	読 写真と文章の関係を理解し、「アップ」と「ルーズ」の関係を読み取っている。 (発言・ノート) (既) 中心となる語や文に注目して要点をまとめる。
	○「アップ」と「ルーズ」それぞれの長所、短所を読み取る。 ・「アップ」と「ルーズ」には、伝えられることと伝えられないことがあることを見つけ、表にまとめる。 ・④⑤段落が対比して述べられていることや⑥段落との関係を読み取る。	読 「アップ」と「ルーズ」の長所と短所について読み取り、表にまとめている。 (発言・ノート) (既) 中心となる語や文に注目して要点をまとめる。
	○ 筆者の伝えたいことを読み取る。 ・⑦⑧段落を読み「アップ」と「ルーズ」が目的に応じて使い分けられていることを読み取る。	読 「アップ」と「ルーズ」が目的に応じて使い分けられていることを読み取っている。 (発言・ノート) (既) 中心となる語や文に注目して要点をまとめる。
	○ 段落相互の関係や役割を考え、文章全体の構成をつかむ。 ・前時までの学習を基に、段落ごとのまとまりや役割を考えて、文章構成図を書く。 ・筆者の伝えたかったことを確かめ、自分たちも相手や目的に応じて伝える方法を選んで壁新聞作りをしていくことに意欲をもつ。	読 段落相互の関係や役割を考え、文章全体の構成をつかんでいる。(発言・ノート) (既) 指示語や接続語、文末表現などに注目して、段落相互の関係をとらえる。文章構成図の書き方。 言 指示語や接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解している。 (発言・ノート)
	○ 関連教材「コマーシャル」を段落相互の関係に気を付けて読み、文章構成をつかむ。 ・教材文を音読する。 ・段落相互の関係に気を付けて「始め」「中」「終わり」に分ける。	読 段落相互の関係に気を付けながら読み、文章構成をつかむ。(発言・ノート) (既) 段落の役割、文末表現、接続語に注目して文章を大まかに分ける。

	<p>○コマーシャル作りの工夫について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「中」や「終わり」に気を付けて読み、コマーシャル作りの工夫を読み取る。</li> <li>・コマーシャルも、「アップとルーズで伝える」で読み取ったことと同じで、伝える相手や目的に応じて伝える方法を工夫していることに気付き、次時からの壁新聞作りに意欲をもつ。</li> </ul> <p>(本時)</p>	<p><b>読</b> 受け手、送り手の関係を考えながらコマーシャル作りの工夫について考えている。</p> <p>(発言・ノート)</p> <p>(既) 中心となる語や文に注目して要点をまとめる。文章を比べて読む。</p>
広げる (10)	<p>○「四年三組から発信します」を読み、活動の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「四年三組から発信します」を読み、活動の見通しをもつ。</li> </ul>	<p><b>関</b> 自分たちが知らせたいことや、相手が知りたいことをまとめる活動に意欲をもっている。</p> <p>(発言・ノート)</p> <p><b>読</b> 「四年三組から発信します」で読み取ったことをもとに、活動の見通しをもっている。</p> <p>(発言・ノート)</p> <p>(既) 活動の見通しをもつ。</p>
	<p>○教科書の作例の工夫を知り、自分たちのまとめ方のイメージをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・写真の意図と効果を考える。</li> <li>・学習の計画を立てる。</li> <li>・グループ分けを行う。</li> </ul>	<p><b>書</b> 発信する内容や相手、まとめ方を考えている。</p> <p>(発言・ノート)</p> <p>(既) まとめ方の構想を立てる。</p>
	<p>○題材を決め取材し、材料を選ぶ。下書きをして互いに読み合い、清書をしてまとめる。</p> <p>(3～9時)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・題材を決める。</li> <li>・取材をする。</li> <li>・材料を選び、記事を書いたり割り付けをしたりする。</li> <li>・下書きをし、互いに読み合う。</li> <li>・清書し、仕上げる。</li> </ul>	<p><b>書</b> 相手や目的に応じ必要なことを調べて集めたり、選んだりしている。また、見出しなどを工夫し、相手や目的に応じた言葉や表現、内容を考えて書いている。(観察・作品)</p> <p>(既) 取材したことをまとめる。見出し、割り付けなどを考えて壁新聞を作る。</p>
	<p>○作品を掲示し、感想を伝え合ったり、お互いのよさを交流したりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・掲示された作品を見て、工夫点などを述べ合う。</li> </ul> <p>○教材文を読み返し、単元全体の活動を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全文を音読する。</li> </ul>	<p><b>書</b> 相手や目的に応じて、分かりやすい記事になっているかを考え、感想を交流している。</p> <p>(発表)</p> <p>(既) 作品を読み感想をもつ。自分の感想を伝え合う。</p> <p><b>関</b> 単元全体の活動を意欲的に振り返っている。</p> <p>(ノート・発表)</p>

## 6 本時の指導

### (1) 目標

「アップとルーズで伝える」で読み取ったことを生かし、コマーシャル作りの工夫について考えることができる。

### (2) 研究にかかわって

○既習事項を活用する力

前時は、コマーシャル作りの工夫を段落相互の関係に気を付けて読み取るために、既習事項である「段落の役割や接続語、文末表現などに注目させる」ことで、「始め」「中」「終わり」の文章構成をとらえさせた。本時は、関連教材「コマーシャル」を「アップとルーズで伝える」で学習した内容を踏まえながら文章を読み取らせたい。まず、「中」「終わり」のまとまりに注目させ、コマーシャル作りの工夫を整理させたい。次に、コマーシャル作りの工夫は何のためにしているか、なぜいろいろな工夫があるのかを考えさせたい。最

後に、「コマーシャル」も伝える目的や相手に応じて伝える方法を工夫していることを受け手、送り手という言葉を使ってまとめさせ、自分たちが情報の発信者となって表現していくときに役立てていこうとする意識をもたせたい。

### (3) 展開

前時の学習	<p>[学習内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「コマーシャル」の段落相互の関係を考え文章全体の構成をつかむこと。</li> </ul> <p>[学習活動]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時までの学習を生かし、「コマーシャル」という説明文を学習することを確認し、音読する。</li> <li>・段落相互の関係を考えて文章全体の構成をつかむ。</li> </ul>	
過程	<p>学習内容（番号）と学習活動（◎） 予想される児童の反応（○）</p>	<p>指導上の留意点（・） 評価規準</p>
意識をもつ  3分	<p>1 前時の学習を想起する。 ◎「コマーシャル」の文章構成をつかんだことを想起する。</p> <p>2 学習課題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">       コマーシャル作りの工夫について考えよう。     </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時までの学習掲示を振り返りながら想起させる。</li> <li>・「アップとルーズで伝える」で学習したことを生かして考えていくことを確認する。</li> </ul>
見通しを立てる  5分	<p>3 学習課題を解決するために見通しを立てる。 ◎「コマーシャル」作りの工夫を読み取るためにコマーシャルの目的や、受け手、送り手を考える。 ○コマーシャルの目的は、すすめている商品を買ってもらうためだと思います。 ○送り手はコマーシャルを制作している人、受け手は視聴者だと思います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コマーシャルの目的は、すすめている商品を買ってもらうために、テレビの映像を使って宣伝していることに気付かせる。</li> <li>・受け手、送り手の関係は、「アップとルーズで伝える」で学習したことを基に考えさせる。</li> </ul>
深め広げる  27分	<p>4 学習課題を解決するために読み取る。 ◎段落ごとに音読する。 ◎コマーシャル作りの工夫がいくつか紹介されていたか発表する。 ○コマーシャル作りの工夫は5つありました。 一つ目は～で二つ目は～で・・・。</p> <p>◎紹介されている工夫は、どんな知恵をしばって制作されているのかを発表する。 ○どうすれば視聴者に好感をもってもらえるかを考えて制作されています。</p> <p>◎コマーシャルの映像を実際に見て、読み取った工夫を見つける。 ○「言葉を考える」工夫や「タレントを使う」工夫を使っていると思います。 ○「音楽を使う」工夫も使っていると思います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5つの工夫が「中」と「終わり」の段落に書いてあることを確認する。</li> <li>・問いかけの段落に着目させる。</li> <li>・「言葉を考える」工夫と「タレントを使う」工夫については、なぜその工夫が使われているのか文章の叙述に戻り確認させる。</li> </ul>

<p>深 め 広 げ る 27 分</p>	<p>5 学習課題を解決するために考えを交流する。  ◎なぜいろいろなコマーシャル作りの工夫があるのかを考える。  ○いろいろな工夫があるのは、目的に応じて工夫を組み合わせたり選んだりして視聴者に好感をもってもらうためだと思います。  ◎「アップとルーズで伝える」と「コマーシャル」を比べ、伝えたいことを伝える方法で似ているところを考える。  ○伝えたいことの内容を多めに集めているところが似ていると思います。  ○送り手が受け手のことを考えて、伝える方法を選んでいるところが似ていると思います。  ○目的に応じて一番合うものを選んでいると思います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受け手である視聴者にとって、最も効果的な表現は何かを、送り手が考えて工夫を選んでいることに気付かせる。</li> <li>・「アップとルーズで伝える」の⑥段落や⑦段落の内容を想起させる。</li> <li>・二つの教材は共に、送り手は自分がいちばん伝えたいことは何か。受け手が知りたがっていることは何かを考えて伝える方法を選んでいることに気付かせる。</li> </ul>
<p>ま と め る 10 分</p>	<p>6 学習のまとめをする  ◎課題のまとめをノートに書く。  ○コマーシャルも受け手が知りたいことは何か、送り手が伝えたいことは何かを考えて、目的に応じていちばん合う工夫を選んで製作されている。  ◎発表する。  ◎学習感想を発表する。  ○送り手が受け手のことを考えてコマーシャル作りの工夫をいろいろ選んでいることが分かりました。  ○受け手が知りたがっていることを考えて壁新聞作りをしていきたいです。</p> <p>7 次時の学習内容の確認をする。  ◎「四年三組から発信します」を読んで活動の見通しをもつことを確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「アップとルーズで伝える」の⑥⑦⑧段落などを想起させ、受け手、送り手の関係を考えてまとめさせる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>評価規準</b></p> <p><b>読</b> 受け手、送り手の関係を考えながらコマーシャル作りの工夫について考えている。  (ノート・発言)</p> <p><b>十分満足できると判断される状況</b>  「アップとルーズで伝える」で読み取ったことを生かし、受け手、送り手の関係を考えながらコマーシャル作りの工夫についてまとめている。</p> <p><b>努力を要する児童への手立て</b>  板書を振り返らせたり、前時までの掲示に着目させたりして、それを手がかりに書かせる。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のがんばりを認め、次時からの学習に生かせるように励ます。</li> </ul>
<p>次 時 の 学 習</p>	<p>[学習内容]  ・「四年三組から発信します」を読んで活動の見通しをもつ。</p> <p>[学習活動]  ・「四年三組から発信します」で読み取ったことをもとに、活動の見通しをもつ。</p>	

(4) 板書計画

二、材料の選び方を考えよう

コマースヤル作りのくふうについて考えよう。

コマースヤル

島森 路子

目的・・・すすめている商品を買ってもらうため  
受け手・・・視聴者(購買者)  
送り手・・・コマースヤルをせい作する人(商品を作った企業)

△コマースヤル作りのくふう▽

・言葉を考えるくふう。・・・見ている人に心にひびく言葉。

おもしろく印象的な言葉。

・タレントを使うくふう。・・・商品や企業に好感を持ってもらう。

・映像をどうとるかのかのくふう。

・音楽をどう使うかのくふう。

・タレントやモデルにどういうかつこうをさせるかのくふう。

一本のコマースヤル・・・いろいろなくふうの中から選んでせい作

受け手が知れたがっていることとは何か。

送り手がいちばん伝えたいこととは何か。

目的にいちばん合うものを選んでい

コマースヤルも、受け手が知りたいこととは何か、送り手が伝えた  
いこととは何かを考えて、目的におうじていちばん合うものを選んで、  
くふうしてせい作されている。